

2012年度（平成24年度）

慶應義塾大学
大学院医学研究科博士課程

入学試験要項

Keio University



個人情報の取り扱いについて

出願および入学手続に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、① 入学試験実施（出願処理・試験実施）② 合格発表 ③ 入学手続と、これらに付随する事項を行うために利用します。

上記の業務は、その一部の業務を慶應義塾大学信濃町キャンパス学生課より当該業務の委託を受けた業者（以下、「委託業者」といいます。）において行います。業務委託にあたり、委託業者に対して、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。

また個人が特定できないように統計処理した個人情報のデータは、大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用されます。予めご了承下さい。

本大学大学院は、本塾建学の精神に則り、学理及びその応用を教授研究し、学術の深奥を究めて文化の進展に寄与することを目的とする。

後期博士課程及び医学研究科博士課程は、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するために必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

気品と智徳を備え、独立自尊の精神の下に医学医療を実践しかつそれらの進歩を担い得る研究者・医師・高度専門家を養成することを目的とする。

募集定員

医学研究系専攻 60名 〈前期募集・後期募集〉

基礎医学と臨床医学の関連分野において独創性の高い基礎研究や疾患の病態メカニズムの解明や治療法の開発に繋がる研究を迫行できる研究者の養成

医療科学系専攻 8名 〈後期募集〉

がん医療を担う医療人の養成、臨床分野における質の高い医療の提供と疾患の根治を目指した本格的な臨床試験を計画・実施できる人材の養成、医師以外の医療関連人材の養成

*詳細はP.11を参照下さい。

注：医学研究科博士課程の専攻の選び方

1. 系専攻を二つまで出願できる。その場合はその専攻に属する〇〇学の分野を一つずつ志望できる。志望順位を付けること。
2. 系専攻一つだけを出願する者も、その専攻に属する〇〇学の2分野を志望できる。志望順位を付けること。

出願資格

- 1 大学（医学、歯学または獣医学、薬学の課程（※修業年限が6年であるものに限る。以下同じ）を卒業した者（平成24年3月卒業見込みを含む）
- 2 外国において、学校教育における18年の課程（最終の課程は医学、歯学または獣医学、薬学（※））を卒業した者。（平成24年3月卒業見込みを含む）
- 3 防衛医科大学校を卒業した者（平成24年3月卒業見込みを含む）。
- 4 大学院研究科で修士課程を修了した者（平成24年3月卒業見込みを含む）、または修士の学位を受けることができる者で、専攻に必要な授業科目を履修した者。
- 5 大学（医学、歯学または獣医学、薬学の課程（※）を除く）を卒業した者、または外国において学校教育における16年の課程を修了した者のいずれかの者で、その後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、大学の医学、歯学または獣医学、薬学を履修する課程を卒業したものと同等以上の学力があると認めた者。
- 6 その他本大学大学院において、大学（医学、歯学または獣医学、薬学の課程（※））を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。

注：① 受験しようとする者は、出願期間までに希望する分野の教授に連絡すること。

また、第二希望の分野のある者は、その分野の教授にも同様にすること。

② 1, 5, 6の「大学」とは、学校教育法第83条の定める日本国内の大学とする。

✂ 外国人留学生試験受験資格

- 1 国籍にかかわらず、上記出願資格2、4により出願する者のうち、外国の大学学部を卒業した者またはこれに準ずる者で、外国人留学生試験による受験を希望する者

✂ 出願資格認定について

出願資格5、6または外国人留学生受験により出願を希望する者は、事前の出願資格審査を行い出願可否の確認を行います。そのため、出願期間開始前に書面もしくは電子メールで学生課までお問い合わせください。
(問い合わせ先は12ページ)

✂ 出 願 期 間

注：① 郵送の場合は各出願締切日必着

注：② 事情により出願締切日変更の可能性もあります。

〈前期募集〉 医学研究系専攻（医療科学系専攻は後期募集のみ）

平成23年8月19日（金）～8月26日（金） 平日 9：00～14：30（土、日曜日の受付はありません）

〈後期募集〉 医学研究系専攻・医療科学系専攻

平成23年12月5日（月）～12月12日（月） 平日 9：00～14：30（土、日曜日の受付はありません）

✂ 出 願 場 所

〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35

慶應義塾大学信濃町キャンパス学生課

注：郵送出願の場合は、書留速達で「大学院博士課程入学願書在中」と朱書し、出願書類と考査料（郵便為替）を添えて郵送して下さい。

✂ 出 願 書 類

- 1 入学志願票
本大学所定のもの。（外国人受験者については、外国人受験者用のもの。）
〔「入学志願票記入上の注意」を熟読のうえ記入のこと。〕
- 2 写 真
脱帽上半身正面、背景なし、縦4cm・横3cm、最近3ヵ月以内に撮影したもの。
写真裏面に志望専攻・講座と氏名を書いてから志願票添付の写真欄枠内に貼って下さい。
- 3 入学志願者調書
本大学所定のもの。
- 4 履 歴 書
本大学所定のもの。
学歴は中学校から記入して下さい。
- 5 成績証明書
卒業（見込み）大学学部及び修了（見込み）大学院修士課程の成績証明書

- 6 大学卒業（見込み）または修士課程修了（見込み）証明書・修士の学位を取得したことを証明する文書（卒業（見込み）年月日が記載されているもの）【本大学からの受験者は不要】
- 7 医師免許証の写【本大学医学部出身者および免許のない者は不要】
- 8 出願資格5に該当する者については、研究業績目録、および研究に従事した大学または研究所等における研究指導者からの推薦状。ただし、状況に応じて、さらにその他の書類の提出を求めることがある。
- 9 受験票返信用封筒【郵送出願者のみ】
本大学所定のものに350円切手をはり、住所・氏名を明記したものを提出して下さい。

※外国人留学生試験受験者用出願書類

（用紙は信濃町キャンパス学生課に申し出て受け取ること。）

上記出願書類1, 2, 5, 6, 9に加えて、下記の書類を提出のこと。

- 入学願書
写真（最近3ヵ月以内に撮影、4cm×3cm）を貼付、指導教授の承認印を得ること。
- 保証書
- 推薦状
- 研究計画

✂ 入学志願票記入上の注意

志 願 票 (A)

- 1 ペン（青か黒のインク）〔ボールペンでもよい〕で丁寧に書いて下さい。鉛筆書きではいけません。
- 2 ※印の欄には何も書かないで下さい。
- 3 現住所（受信場所）は、試験または入学に関して必要な場合の連絡先です。従って、なるべく迅速確実に連絡のとれる場所を記入して下さい。
- 4 出願手続き終了後、志願研究科・専攻などの変更はできません。
- 5 系専攻、学（分野）の選び方
 - (1) 系専攻を二つまで出願できます。その場合はその専攻に属する〇〇学の分野を一つずつ志望できます。志望順位をつけて下さい。
 - (2) 系専攻一つだけを出願する者も、その専攻に属する〇〇学の2分野を志望できます。志望順位をつけて下さい。

志 願 票 (B)

- 1 ペン（青か黒のインク）〔ボールペンでもよい〕で丁寧に書いて下さい。鉛筆書きではいけません。
- 2 ※印の欄には何も書かないで下さい。

氏 名

戸籍に記載の氏名を記入して下さい。外国籍の場合も通称名を使用してはいけません。

- 1 カタカナを用いて1コマ1字ずつ記入し、姓を先に書き、1コマ空けてから名前を書いて下さい。
- 2 濁点の「゛」、半濁点の「゜」も1コマ1字として記入します。

（例）ガ →

カ	゛
---	---

 パ →

ハ	゜
---	---

- 3 長音および長音と思われるものは「-」を用いず、ア列はアを、イ列はイを、ウ列はウを、エ列はエを、オ列はオまたはウを続けて記入して下さい。ただし「オウ」と「オオ」は次のように区別して書きます。
「オオ」と発音されるもの、大木・太田・大熊などはオオキ・オオタ・オオクマとし、その他の安藤・西郷などはアンドウ・サイゴウとします。

- 4 本来「チ」・「ツ」と発音するもので2語の連語によって生じた「ヂ」・「ヅ」は、「チ」・「ツ」とする。その他は「ジ」・「ズ」とします。
例 犬塚 → イヌヅカ
- 5 「キ」・「エ」・「ヲ」は使用せず、イ・エ・オを使用します。
- 6 字はわかりやすく丁寧に書いて下さい。特に次のような字は読み違いやすいので気をつけて下さい。
コとユとフ、ワとクとリとイ、シとツ、ナとメとト、ケとチ、アとマとヤ。
- 7 外国人の氏名の読み方は現地読みで記入して下さい。

生年月日

生年を西暦の4桁で記入し、月・日も2桁で記入して下さい。

(例) 昭和50年4月23日生 →

1	9	7	5	0	4	2	3
---	---	---	---	---	---	---	---

性別

次の表によって数字で記入して下さい。

性別	男	女
番号	1	2

出願資格校卒業年月日

卒業または卒業見込みの年を西暦の4桁で記入し、月・日も2桁で記入して下さい。

塾内受験者最終学籍番号

塾内からの受験者は、在学した最終学部（研究科）の学籍番号（学生証番号）を記入して下さい。

✂ 考 査 料

35,000円

- 注：① 郵送出願の場合は、郵便為替で用意して下さい。（宛名は記入しないで下さい。）
② 窓口出願の場合は、学生課での書類提出後、信濃町キャンパス経理課にて現金でお支払い下さい。

✂ 一般注意事項

- 1 入学試験・合格発表についての郵便・電話の問い合わせには応じません。
- 2 一度提出した書類および納入金は返還しません。
- 3 受験票は、受験期間中常に携帯し入学手続きの際まで保存して下さい。

✂ 試験科目

専攻	科目
各専攻	①筆記試験（英語）※英語による出題，日本語での解答 辞書等の持ち込み不可 ②口頭試問
外国人留学生 試験受験者	①筆記試験（英語）※英語による出題及び解答 辞書等の持ち込み不可 ②口頭試問

✂ 試験日・時間割・試験場 〈各専攻，外国人留学生試験受験者 共通〉

〈前期募集〉

試験日	時間割	試験場
平成23年 9月8日（木）	9：20 着席 9：30～11：00 筆記試験（英語）	大会議室 （大学病院新棟11階）
平成23年 9月26日（月）	詳細は筆記試験の 際に通知します。 口頭試問	セミナールーム5 （新教育研究棟4階）

〈後期募集〉

試験日	時間割	試験場
平成24年 1月13日（金）	9：20 着席 9：30～11：00 筆記試験（英語）	大会議室 （大学病院新棟11階）
平成24年 1月19日（木）	詳細は筆記試験の 際に通知します。 口頭試問	講堂3 （新教育研究棟4階）

✂ 合格発表日

〈前期募集〉 平成23年9月30日（金） 午前11時

〈後期募集〉 平成24年1月25日（水） 午前11時

注：① 合格発表は，信濃町キャンパス学生課掲示板に掲示します。

② 前期合格者には郵送で，後期合格者には学生課窓口で入学手続き書類を配布します。

✂ 入学手続き

1 期間

〈前期募集〉 平成23年12月5日（月）～12月9日（金）

〈後期募集〉 平成24年1月25日（水）～2月8日（水）（土，日曜日を除く）

注：① 期間を厳守して下さい。

2 受付時間

平日 9：00～16：45

（休憩時間 11：30～12：30）

3 場 所

信濃町キャンパス学生課（孝養舎 1階）

4 必要な書類等

(1) 受験票

(2) 誓約書（本人及び保証人の印鑑が必要です）・在学カード・住所氏名台帳・住民票記載事項証明書（以上、全て入学を許可された者に交付します）

注：住民票記載事項証明書（所定用紙で該当市（区）町村役所で証明を受けて下さい）、外国人は外国人登録原票記載事項証明書とします。

(3) 大学学部卒業見込みで受験した者は、卒業証明書・成績証明書（本大学からの受験者は不要）

大学院修士課程修了見込みで受験した者は、修了証明書・成績証明書（本大学からの受験者は不要）

(4) 写真2枚。脱帽上半身正面、背景なし、縦4cm、横3cm（ワクなし）、カラー、光沢、最近3か月以内に撮影したもの。写真裏面に「医学研究科・博士1年・専攻分野・氏名」を記入。

この写真は、学生証の写真として修了時まで使用します。

(5) 人事IDカード作成用写真1枚。上半身、縦4cm、横3cm、カラー、光沢、白衣着用、写真裏面に「大学院生・科名・氏名」を記入。

(6) 流行性ウイルス疾患（麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎）抗体価検査結果証明書（写）または、ワクチン接種証明書（写）

(7) 入学に必要な費用（次ページ参照）

入学に必要な費用の納入方法は、金融機関への振り込みのみです。

入学手続書類に含まれる指定の授業料等振込用紙を使用し、最寄りの金融機関（郵便局は不可）から慶應義塾大学医学部指定口座宛、窓口にて振り込んで下さい。（機械による振り込みは、本人の確認が困難となるため避けて下さい。）

入学手続きの際には、振込金受付証明書（銀行の領収印を受けたもの）を必ず提出して下さい。これが提出されない場合、他の書類が提出されても入学手続きは認められませんのでご注意ください。

[参考資料]

最近3か年の志願者数・合格者数

	2009年度						2010年度					
	前 期			後 期			前 期			後 期		
	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者
医学研究科	25(7)	23(7)	22(6)	66(19)	64(19)	63(19)	38(12)	36(12)	33(11)	51(19)	48(17)	46(16)

	2011年度					
	前 期			後 期		
	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者
医学研究科	32(12)	30(12)	30(12)	57(17)	57(17)	55(17)

注：（ ）は女子で内数

入学に必要な費用

2012（平成24）年度の学費は現在未定ですが、決定後通知します。なお、参考までに下表に2011年度の現行の入学に必要な諸費用を掲載します。このうち学費（入学金・在学料・施設設備費・実験実習費）については、スライド制を採用しており、在学中はその適用により毎年定められる学費を納入することになっています。

（単位：円）

種別		入 学 金	在 学 料	施設設備費	実験実習費	情報ネットワーク 登録・利用料	研究会会費・ 学会誌配布費用	学生自治会費	学生健康保険 互助組合費	合 計 ()内は在学料分納の場合
文学研究科	哲学・倫理学・ 美学美術史専攻	310,000	490,000	30,000	—	5,000	3,000	1,600	2,600	842,200 (576,150)
	史学専攻	310,000	490,000	30,000	—	5,000	3,500	1,600	2,600	842,700 (576,400)
	図書館・情報学専攻	310,000	490,000	30,000	24,000	5,000	*3,000	1,600	2,600	866,200 (589,650)
	その他の専攻	310,000	490,000	30,000	—	5,000	4,000	1,600	2,600	843,200 (576,650)
経済学研究科		310,000	490,000	30,000	—	5,000	6,000	1,600	2,600	845,200 (577,650)
法学研究科		310,000	490,000	30,000	—	5,000	**46,000	1,600	2,600	885,200 (597,650)
社会学研究科		310,000	490,000	30,000	—	5,000	*4,000	1,600	2,600	843,200 (578,650)
商学研究科		310,000	490,000	30,000	—	5,000	8,000	1,600	2,600	847,200 (578,650)
医学研究科		310,000	880,000	90,000	180,000	5,000	—	—	2,600	1,467,600 (888,850)
理工学研究科		310,000	660,000	50,000	120,000	5,000	—	—	2,600	1,147,600 (728,850)
政策・メディア研究科 (修士課程)		310,000	1,010,000	240,000	—	—	8,000	—	2,600	1,570,600 (940,350)
政策・メディア研究科 (博士課程)		310,000	630,000	250,000	—	—	8,000	—	2,600	1,190,600 (750,350)
健康マネジメント研究科 (修士課程)		310,000	1,010,000	240,000	180,000	—	8,000	—	2,600	1,750,600 (1,030,350)
健康マネジメント研究科 (博士課程)		310,000	630,000	240,000	180,000	—	8,000	—	2,600	1,370,600 (840,350)
薬学研究科		310,000	590,000	70,000	120,000	5,000	—	—	2,600	1,097,600 (703,850)

- 注：1 入学金と学生健康保険互助組合加入費を除いた学費は、春学期・秋学期に分けて納入することができる。ただし、一部の代理徴収費用については分納扱いをせず、春学期に一括して徴収する。（*：分納扱いをしない費用）なお、秋学期学費は毎年10月末日までに納入するものとする。
- 2 本塾大学学部を卒業する年に入学する者の入学金は規定額の半額とする。ただし、卒業後1年以上を経過して入学する者の入学金は規定額とする。
- 本塾大学通信教育課程卒業者の入学金は規定額とする。
- 本塾大学大学院修士課程を修了する年に後期博士課程に入学する者の入学金は不要であるが、修士課程修了の後1年以上を経過して入学する者および本塾大学大学院法務研究科修了者の入学金は規定額とする。
- 3 法学研究科の**印の額には、学位論文作成のための論文刊行費（36,000円）を含む。
- 4 学生健康保険互助組合費には加入費100円を含む。ただし、本塾大学大学院修士課程を修了する年に後期博士課程に入学する者の加入費は不要である。
- 5 義塾が委託されて徴収するもの（研究会会費・学会誌配布費用、法学研究科の論文刊行費、学生自治会費、学生健康保険互助組合費）については、在学中も年度により必要に応じて改定されることがある。
- 6 薬学研究科はコースによって別途研修費を徴収する。
- 7 任意ではあるが、入学者に対して慶應義塾債（1口10万できるかぎり3口以上、修了時または義塾離籍時に償還）・教育振興資金（年額5万円以上）を入学時に募集する。

現行学費スライド制について

これまで義塾の学費については、スライド制の適用により毎年定められてきた。この制度は、毎年前年度の学費の額にそれぞれ一定のスライド率を乗じて得た金額を次年度の学費とする方法で、これは在学生にも適用されるものである。なお、現行スライド制の適用に当たって用いているスライド率（対前年度アップ率）は次の通りである。

入学金・在学料 人事院による国家公務員の給与に関する勧告によって示された国家公務員の給与の対前年度アップ率に同じく定期昇給のアップ率分を加算したものによる。

施設設備費 東京都標準建築費一事務所（SRC）の対前年度アップ率による。

実験実習費、情報ネットワーク登録・利用料

消費者物価指数—商品・うち工業製品—の対前年度アップ率による。

✂ 奨学制度（博士）

勉学の意欲を持ちながらも、経済的に修学が困難で、かつ学業・人物ともに優秀な学生を対象に、本大学院には以下の奨学制度があります。

- | | |
|-------------------|----------------------------------|
| (1) 慶應義塾大学大学院奨学金 | (慶應義塾大学大学院独自の奨学金) |
| (2) 医学研究科博士課程奨学金 | (慶應義塾大学大学院医学研究科独自の奨学金) |
| (3) 指定寄付奨学金 | (卒業生の団体や篤志家より受けた寄付金をもとに設置) |
| (4) 各種奨学金 | (地方公共団体、社・財団法人等が設置している奨学金) |
| (5) 日本学生支援機構奨学金 | (日本学生支援機構に基づく国の奨学制度・旧日本育英会奨学金) |
| (6) 慶應義塾大学教育ローン制度 | (提携銀行による低金利学費ローン・奨学金として利子給付制度あり) |

奨学金情報は大学院所定の掲示板を通じて周知しますので、都度掲示板を確認する必要があります。主に4～6月にかけて募集されますが、年度により奨学金や要項が異なりますので、掲示板を確認の上、不明な点は学生課学生生活担当までお問合せください。

✂ 在学料などの返還

納入された費用は、理由のいかんにかかわらず返還しません。ただし平成24年3月31日までに所定の方法により入学辞退の手続きを完了した場合に限り、「入学に必要な費用」のうち入学金を除くすべての入学に要する費用を返還します。

✂ 慶應義塾教育振興資金（寄付金）・慶應義塾債（学校債）

慶應義塾教育振興資金	在学中毎年 年額 5万円以上
慶應義塾債	1口 10万円（できるかぎり3口以上） 大学院修了時、義塾離籍時に償還

いずれも任意のものではありますが、教育充実のために使われるもので、多くの方々にご協力をいただいています。この慶應義塾教育振興資金、慶應義塾債の詳細につきましては、入学後に募集のご案内をお送りいたします。

専攻・分野名・指導教授一覧

(2011年5月1日現在)

(設置授業科目については、「医学研究科博士課程」を参照して下さい。)

専攻	分野	指導教授
医学研究系	解剖学	相磯貞和 (医学博士)
	解剖学	仲嶋一範 (博士(医学))
	解剖学	松尾光一 (博士(医学))
	生理学	岡野栄之 (医学博士)
	生理学	柚崎通介 (医学博士)
	医化学	末松誠 (博士(医学))
	生体情報医工学	〃
	分子生物学・遺伝子医学	塩見春彦 (医学博士)
	分子生物学・遺伝子医学	工藤純 (理学博士)
	薬理学	安井正人 (博士(医学))
	構造生物学	〃
	先端医科学	河上裕 (博士(医学))
	先端医科学	佐谷秀行 (医学博士)
	発生・分化生物学	須田年生 (医学博士)
	薬剤学	谷川原祐介 (薬学博士)
	病理学	岡田保典 (医学博士)
	病理学	坂元亨宇 (博士(医学))
	病理学	廣橋説雄 (医学博士)
	法医学	藤田眞幸 (医学博士)
	微生物学・免疫学	小安重夫 (理学博士)
	微生物学・免疫学	吉村昭彦 (理学博士)
	微生物学・免疫学	岩田敏 (医学博士)
	衛生学公衆衛生学	大前和幸 (医学博士)
	衛生学公衆衛生学	武林亨 (博士(医学))
	医療政策・管理学	池上直己 (医学博士)
	内科学	鈴木則宏 (医学博士)
	内科学	日比紀文 (医学博士)
	内科学	伊藤裕 (医学博士)
	内科学	岡本真一郎 (医学博士)
	内科学	竹内勤 (医学博士)
	内科学	福田恵一 (医学博士)
	内科学	別役智子 (博士(医学))
	小児科学	高橋孝雄 (医学博士)
	精神神経科学	三村將 (博士(医学))
	皮膚科学	天谷雅行 (医学博士)
	放射線医学	栗林幸夫 (医学博士)
	放射線医学	茂松直之 (医学博士)
	リハビリテーション医学	里宇明元 (医学博士)
	臨床検査医学	村田満 (医学博士)
	外科学	北川雄光 (博士(医学))

外科	学	四津良平	(医学博士)
外科	学	吉田一成	(医学博士)
外科	学	黒田達夫	(医学博士)
外科	学	野守裕明	(医学博士)
整形外科学		戸山芳昭	(医学博士)
眼科学		坪田一男	(医学博士)
耳鼻咽喉科学		小川郁	(博士(医学))
泌尿器科学		大家基嗣	(博士(医学))
産婦人科学		吉村泰典	(医学博士)
産婦人科学		青木大輔	(医学博士)
麻醉学		武田純三	(医学博士)
形成外科学		貴志和生	(博士(医学))
救急医学		堀進悟	(医学博士)
歯科・口腔外科学		中川種昭	(歯学博士)
医療科学系	臨床腫瘍学	矢作直久	(博士(医学))
	臨床研究学		

} P.11 参照

医療科学系専攻 入学志願要件および4年間の教育課程の概要と学位取得

■入学志願要件

臨床腫瘍学（がんの専門医療人を育成するプログラム）

- ① 内科系臨床腫瘍医養成コース
- ② 外科系臨床腫瘍医養成コース
- ③ 放射線治療専門医養成コース
- ④、⑤ 緩和医療専門医養成コース（精神・神経科学／麻酔学）
- ⑥ リハビリ専門医養成コース
- ⑦ 臨床医学物理研修研究コース（医学物理士養成コース）

の7つのコースが設定されています。志願者は入学後それぞれの指導を担当する予定となる教授と、どのコースを選択するかを志願書提出前に慎重に相談していただくことになります。以下にそれぞれのコースの入学要件を記します。

- ① 内科系臨床腫瘍医養成コースを希望する内科医：一般内科学の研修（初期研修2年間と内科学での最低1年間の後期研修）修了者
- ② 外科系臨床腫瘍医養成コースを希望する外科医：初期臨床研修2年間、後期臨床研修2年間（2年間とも関連教育施設での研修）を修了したあとの入学を基本とするが、専門領域によっては1年早く入学できる場合もある。
- ③ 放射線治療専門医養成コース：初期臨床研修2年間修了者（または修了予定者）ならば受験可能
- ④、⑤ 緩和医療専門医養成コース：精神科の場合は初期研修2年間、後期研修3年間を修了していること、麻酔科の場合は初期研修2年間、後期研修4年間を修了し、麻酔科専門医の資格を有することが望ましい。
- ⑥ リハビリ専門医養成コース：初期研修2年間修了者、（または修了予定者）ならば受験可能
- ⑦ 臨床医学物理研修研究コース（医学物理士養成コース）：医療技術系修士課程または理工系修士課程を修了していること。

臨床研究学（臨床研究のプロを育成するプログラム）

質の高い臨床研究を自ら立案・実施できる臨床研究専門家養成コース（医師向け）のほか、臨床医学分野、予防医学分野、国際保健医学分野等における臨床研究、疫学・生物統計学研究、医療技術評価研究の専門家養成コース（医療・保健専門職向け）の設定を予定しており、同様に、志願者は入学後それぞれの指導を担当する予定となる教官と、どのコースを選択するかを志願書提出前に慎重に相談していただくことになります。

■4年間の教育課程の概要と学位取得

臨床腫瘍学（がんの専門医療人を育成するプログラム）

初年度にがん医療の基盤的知識及び幅広いがん治療に関する講義を受講するとともに、2～3年次には複数の診療科をローテートし、多様ながんに対する化学療法、分子標的療法、放射線療法、低侵襲外科、緩和医療などを実地で経験することになります。4年次にはがん患者の治療計画をリーダーとして立案遂行する訓練を受け、専門的知識と技術を磨くとともに種々学会等の癌治療関連の専門医の受験資格を得ることを目標とします。さらに、1年次から教員の指導のもとで臨床研究のテーマを選び実施し、英文論文を作成することにより学位取得を目指します。

臨床研究学（臨床研究のプロを育成するプログラム）

初年度から2年次のはじめにかけて、臨床研究に関する基礎的知識に関する講義を受講し、臨床研究の遂行に必要な知識とスキルの習得を図ります。また、指導教授との面談により、各診療科における自らの専門分野・疾患領域等を定め、当該分野における臨床研究の計画を立案します。2年次の5月以降～3年次には、臨床現場において当該領域の医療者としての専門的知識と技術を磨くとともに、計画した臨床研究を遂行します。4年次には、臨床研究の解析を行うとともに、倫理委員会・治験審査委員会への参加などを通じ、臨床研究専門家としての知識を身につけます。さらに1年次から教員の指導のもとで臨床研究のテーマを選び実施し、英文論文を作成することにより学位取得を目指します。

医師以外の医療・保健専門職で本プログラムを選択する者も同様に、初年度または2年次のはじめまでに、臨床研究、

疫学・生物統計学研究，医療技術評価研究に関する基盤的知識に関する講義を受講し，研究の遂行に必要な知識とスキルの習得を図るとともに，指導教授との面談により，自ら専門分野における臨床研究，疫学・生物統計学研究の計画を立案し，2年次以降は，臨床現場あるいは研究フィールドにおいて，当該領域の専門職としての専門知識と技術を磨きながら計画した臨床研究，疫学・生物統計学研究を遂行，4年次に研究データの解析を行って英文論文を作成することにより学位取得を目指します。医療現場等での実務に従事している方の入学も可能ですが，集中講義を含む必修科目・選択科目の履修が可能であること，ならびに実習科目の内容を指導教授と相談の上決定し，本研究科により認定されることが必要です。

問い合わせ先

慶應義塾大学信濃町キャンパス学生課

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35

T E L 03-5363-3662 (直通)

MAIL medgrad@info.keio.ac.jp

信濃町キャンパスマップ



